



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

PE熱交換型換気システム

「せせらぎ[®]S400」

SKH150se シリーズ (本体)



施工要領書

2026年08月 発行



目次

安全上のご注意		3
施工手順概要		4
施工手順①	配置計画図例	5
施工手順②	PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」の構造	6
施工手順③	室内カバーの取り付け	7
施工手順④	VU管スリーブの穴開け位置・防火ダンパーの取り付け	8
施工手順⑤	「ハルターくん(同時梱包)」を使用してVU管スリーブの設置方法	9
施工手順⑥	「SKN2 Lunos 防水・気密パイプ用シート」の施工方法	10
施工手順⑦	VMPX施工手順 ガウスファンの接続(ワンタッチケーブル) スリーブ管保護キャップ	11 12
施工手順⑧	屋外フードKK2の設置方法	13
施工手順⑨	屋外フードNWCの設置方法	14
参考断面詳細図	- SKH150se-S400KK2(通常仕様)付加断熱無し 3.5寸 - SKH150se-S400KK2(FD仕様)付加断熱無し 3.5寸 - SKH150se-S400NWC(通常仕様)付加断熱無し 3.5寸 - SKH150se-S400NWC(FD仕様)付加断熱無し 3.5寸	15 16 17 18
初期使用方法の 注意点と特性表	- 北海道地区でPE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」をご使用される場合のお願い - PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」の特性表	19
トラブルシューティング	- コントローラーが動かない(ランプが点灯・点滅しない) - ファンが動かない - ファンが高速回転する(制御できない) - コントローラーのLEDが点灯しない 1～4で問題が解決されなかった	20



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

安全上のご注意

◎安全のために必ずお守りください

- ・取り付けを行う前に必ずこちらの取扱説明書をお読みください。
- ・安全ルールを守って取り付けしてください。
- ・お取り付けの際、電源スイッチを切ってください。
- ・コントローラーに水等をかけないでください。ショートや感電の恐れがあります。
- ・スプレーをかけないでください。故障の原因になります。
- ・取り付けは、電気工事士が行ってください。

※納品後、付属部品（同梱品）を確認してください。また、商品の納品時に生じた傷の有無を確認してください。到着後1週間以降の返品・交換には応じかねます。

※不適切な取り付け、もしくは用途と異なる使用を行った場合の物的・人的損害については、当社は責任を負いかねます。その場合、保証請求は無効となります。

※コントローラーのプラスとマイナスの配線ミスによる故障についても、当社は責任を負いかねます。その場合、保証請求は無効となります。

◎商品内容の確認をしてください。

「せせらぎ®S400」の梱包部品と部材

・室内カバー	・フィルター 取付ベース	・室内カバー取付ベース
・GaußFan03 ファンユニット + ・蓄熱エレメント		・VU管スリーブ 150-400L
・ハルターEPS 150-105L／150-120L	・ハルター取付枠	・KK2 または NWC 防風型屋外フード

別途、ご発注いただいた際の梱包部品と部材

各種フィルター 標準フィルター（丸） 花粉・PM2.5フィルター（丸） ウイルス除菌フィルター（丸） ウイルス除菌 + 花粉・PM2.5フィルター（丸）	・防火ダンパー	・SKN2 Lunos 150 Φ
---	---------	-------------------

必要に応じてご用意していただくもの

・石膏ボード用ビス（25mm） ※せせらぎ1台あたりに4本	・気密テープ	・補修用コーキング	ケーブルのコネクター
----------------------------------	--------	-----------	------------



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

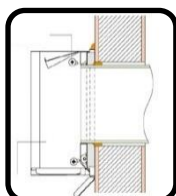
施工手順概要



- ① 上棟時には、
「せせらぎ®S400」の
ご用意をお願いします



- ② ハルターの取付
スリーブの取付



- ③ 屋外フードの取付



- ④ コントローラーの取付、
結線、ファン・室内カバーの取
付



- ⑤ 試運転、ファンユニット
動作の確認



- ⑥ 施工会社様から施主様への
取扱説明

断熱施工前

足場を外す前

PB施工後

引き渡し前

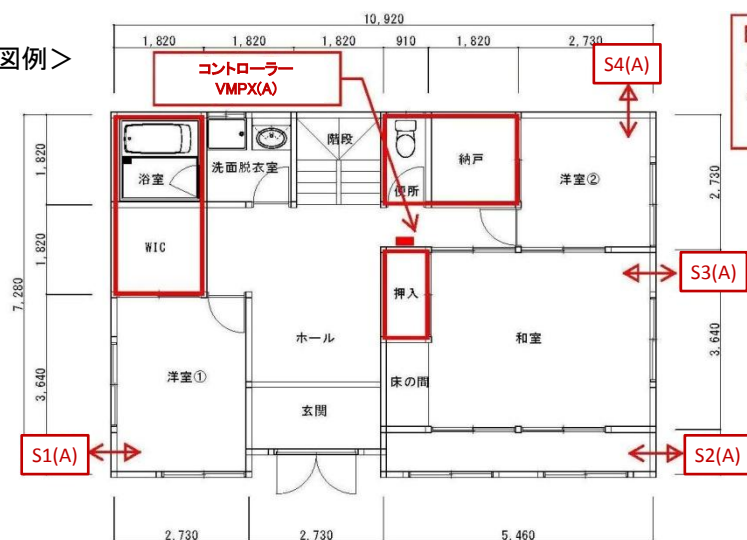
引き渡し時



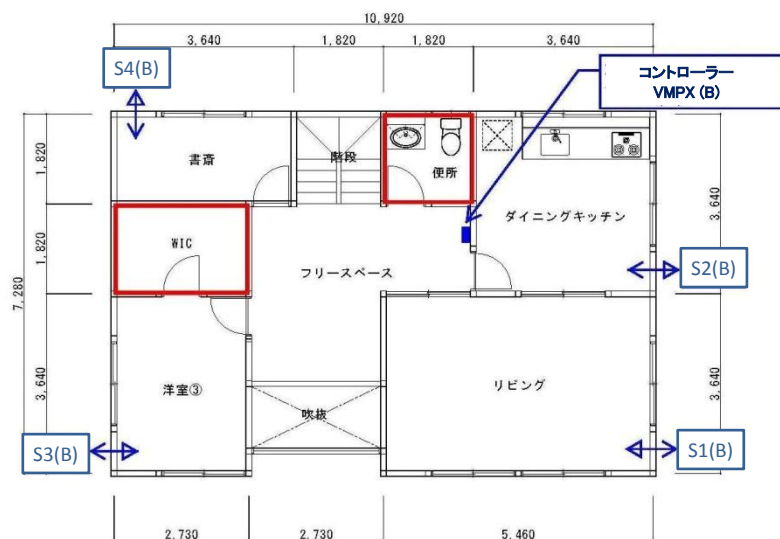
施工手順①配置計画図例

- 「せせらぎ®S400」本体とコントローラーは配置計画図の配置を参考にして設置してください。
また、ショートサーキットを防ぐため、ファンユニットのS1～S4についても配置計画図を参考にしてください。

<配置計画図例>



1 階平面図



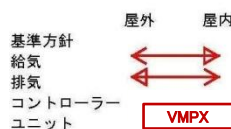
2 階平面図

【重要】

- * 必ずこの資料を電気工事ご担当者にお渡しください。
- * 施工要領書の記載通り、コネクタをターミナルに接続する際に、排気と給気の区別を確実に行ってください。

□ 未算入部分

「せせらぎ」の取り付け案内図の解釈

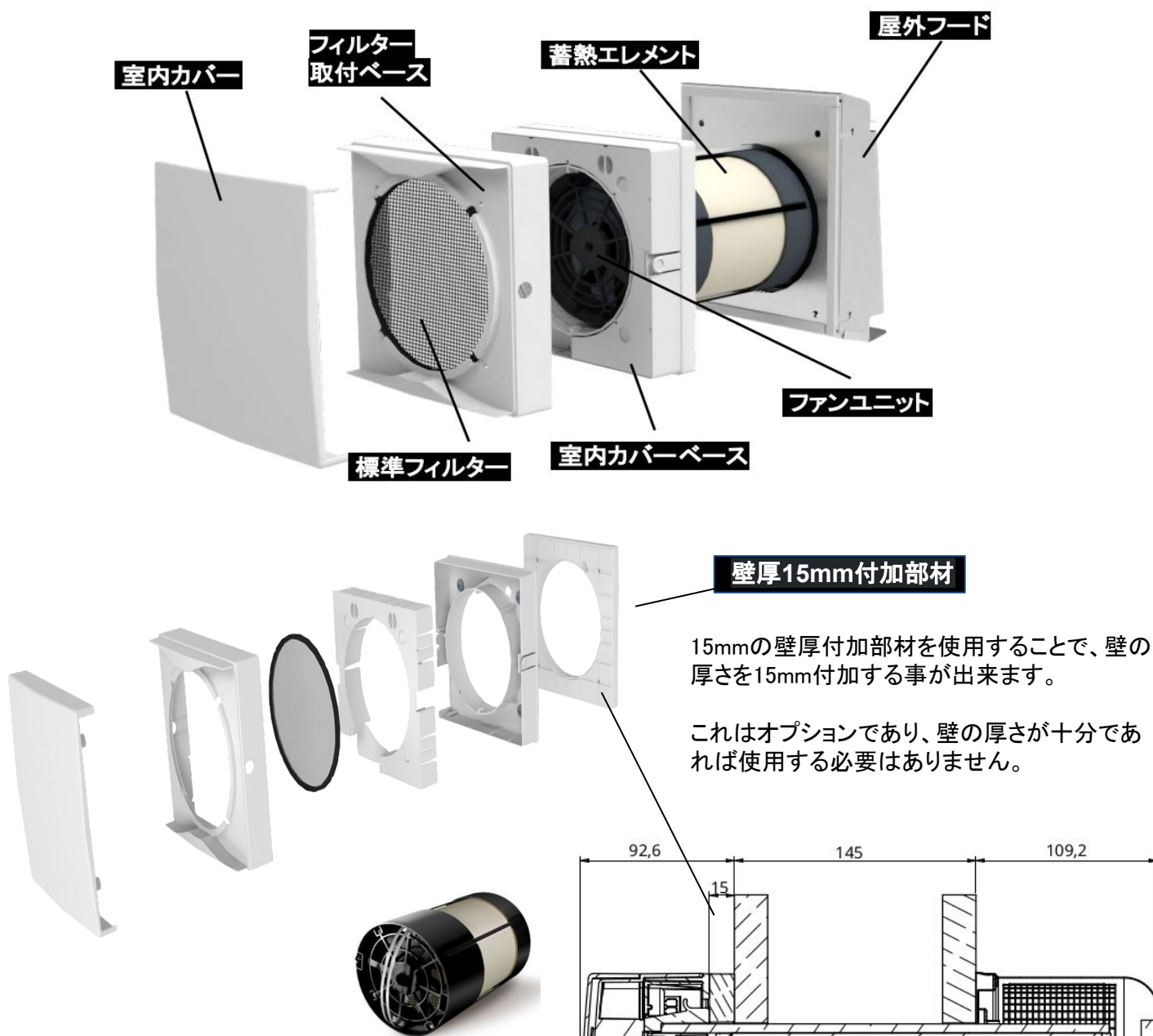


- * 図中のS1～S4等の表記はコントローラーとファンを接続する際の目印です。
施工要領書(P11ガウスファンの接続の説明 (ワンタッチケーブル))図の
コントローラーとファンの番号を参考に間違いのないように正しく接続して下さい。
- * Sの後ろの奇数番は給気を、偶数番は排気を示しています。また、ナイトパージ運転
モード(一方通行換気)の場合の、給排気に影響しますのでご注意ください。



施工手順②

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」の構造



ガウスファンの特徴

静音設計	レベル1: 17 dB(A)
風量	最大 80 m³/h
消費電力	最大 1.6 W/h
比消費電力	0.04 W/m³h



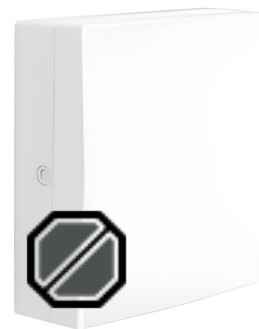
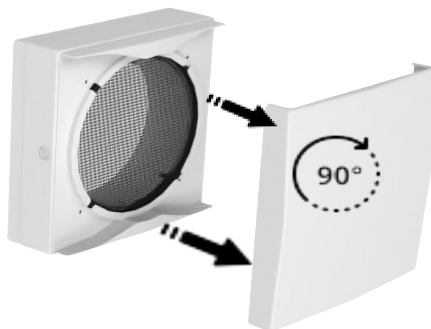
PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

施工手順③ 室内カバーの取り付け

新しいデザインの室内カバーは、台風などの悪天候時に、風が家の中に入らないように設計されていますが、暴風時に稀に風が侵入することを想定し、室内カバーを90°回転させると、風の侵入を防ぐことができます。



通常時



暴風時(給排気口が閉じます)

フィルター

フィルターのタイプは4種類あります：

①標準フィルター

日常生活で、外気の汚れの侵入防止し、水洗いできるタイプです。

②PM2.5花粉フィルター

花粉症の対策として、スギ花粉が飛散する時期(2月～4月)にお勧めしております。

PM2.5・花粉フィルターは水洗いできないため、シーズンごとに交換が必要となります。

③ウイルス除菌フィルター(AQタイプ推奨)

酵素の力で細菌などを不活化させることで、二次汚染を確実に防止します。

標準フィルターと同様水洗いできます。

④ウイルス除菌フィルター+PM2.5花粉フィルター

酵素の力で細菌などを不活化させることで、二次汚染を確実に防止します。

ウイルス除菌フィルター+PM2.5花粉フィルターは水洗いできないため、

シーズンごとに交換が必要となります。



交換フィルターセットの注文方法

- **Amazon**
amazon.co.jp

こちらで提供中

amazon

- **BASE**
<https://passiv.base.shop>

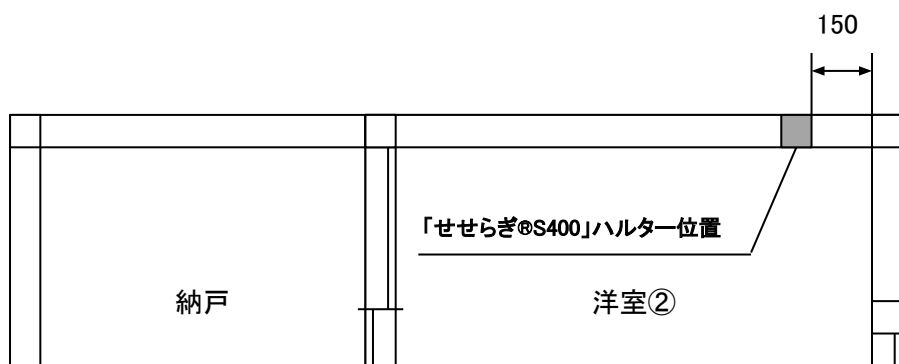
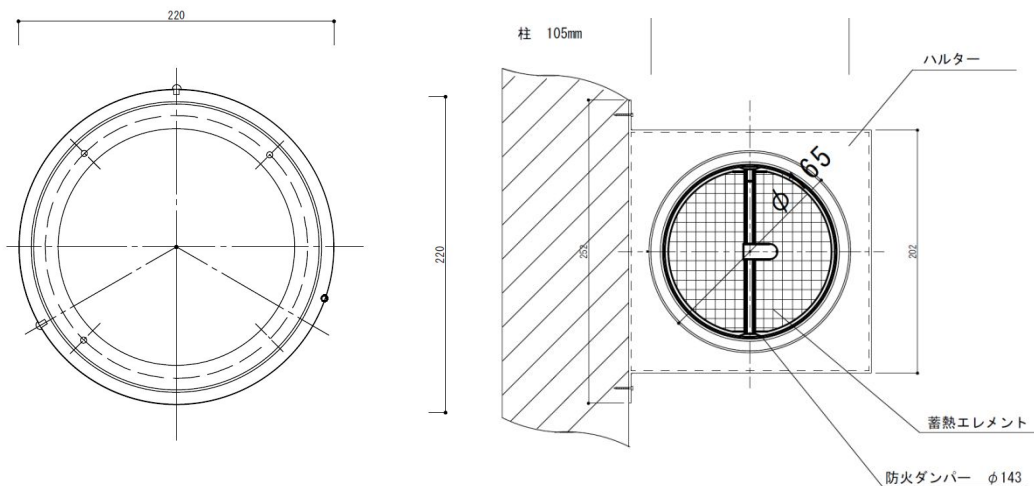
 **BASE**



施工手順④ VU管スリーブの穴開け位置・防火ダンパーの取り付け

1. VU管スリーブの穴開け位置

※屋外側



左図のように室内壁面から ハルター外枠までを**150mm以上**離して設置してください。

室内壁面に近づき過ぎますと、壁面が給排気の妨げになったり等問題が起こる可能性があります。

2. 防火ダンパーの取り付け

1. ダンパー羽根内側の片方のフックを中央に引き寄せます。
2. 引き寄せた片側のダンパーと枠の隙間に手を添えます。
3. 手のひらを折るようにもう一方の羽根を引き寄せ、左右の羽根を中央で合わせます。
4. 中央に引き寄せた羽根の規定置に温度ヒューズを挟み、確実に固定します。



※ 以上の状態で納品される場合もあります。

1. 屋外フードをはずし、スリーブ内側に防火ダンパーをはめ込みます。
2. 再度、温度ヒューズの固定を確認し、屋外フードを取り付けます。



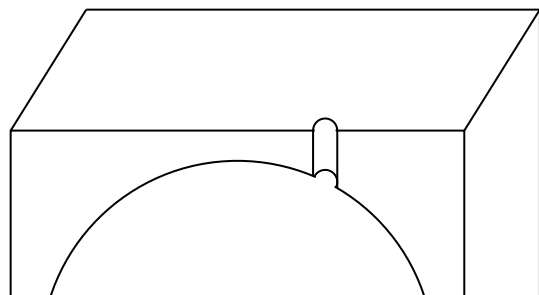
PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

施工手順⑤ 「ハルターくん(同時梱包)」を使用して VU管スリーブの設置方法

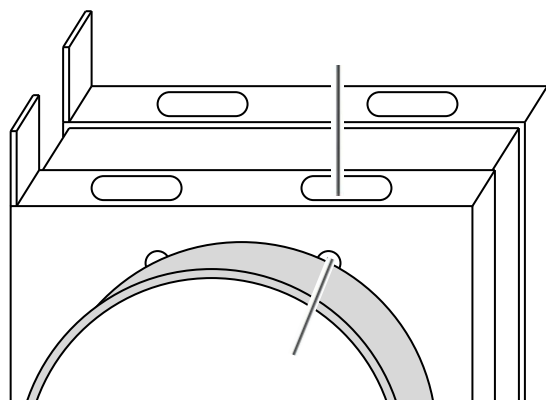


※「ハルターくん」取付後に、配線工事を行うと、工事が難しくなる恐れがあります。

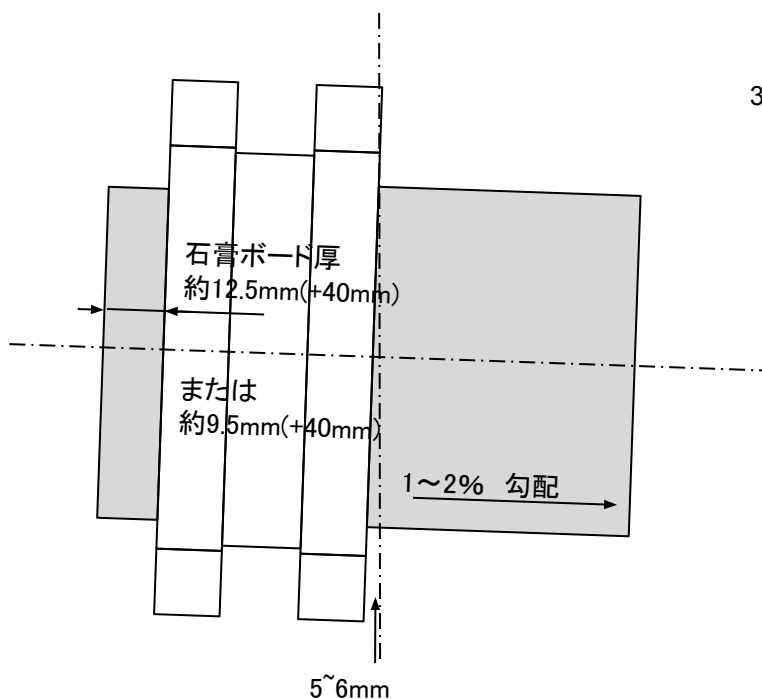
※「せせらぎ®S400」設置位置までの配線工事は、できるだけ取付の前に終わらせておいてください。



1. 最初に配線を通す位置を確認し、EPS（発泡スチロール）にカッターで配線が通る大きさに溝を作ります。
※専用型枠の上下に空いている8つの配線孔のうち、配線を通したい孔の位置に合わせて溝を作ってください。

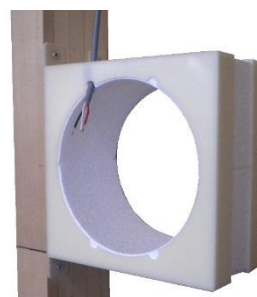


2. スリーブにEPS（発泡スチロール）を挿入した状態で、EPSに型枠をはめ込みます。
このとき、EPSの切れ込みのある面が、型枠のビス孔がある面と合わせるようにします。
※型枠の取付が終わったら、スリーブが簡単に抜けないことを確かめください。



3. ビス孔のある面を柱に付けて取り付けます。
このとき、「ハルターくん」本体を傾け、屋外側に向かって水勾配を1~2%付けて4個のビスで確実に固定します。

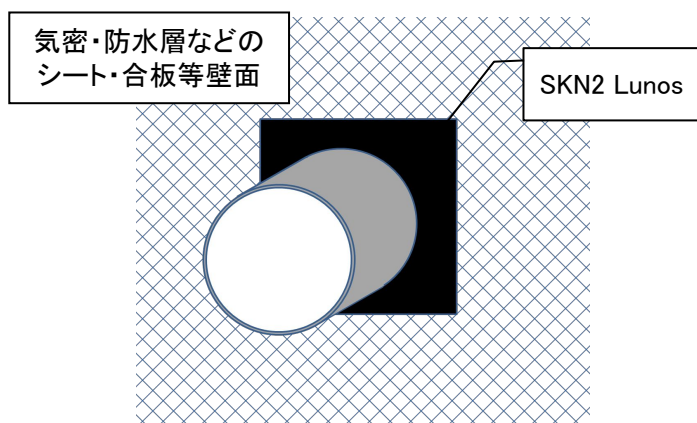
固定を確認したら、①の配線用の孔から配線を通します。



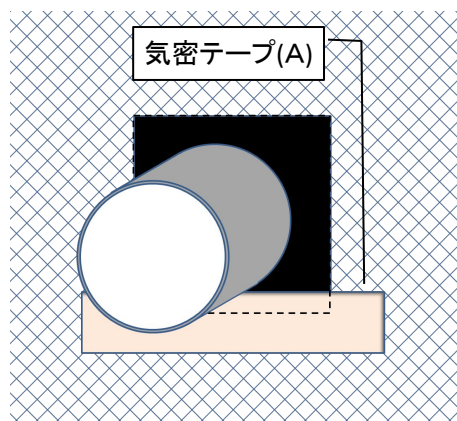


施工手順⑥ 「SKN2 Lunos 防水・気密パイプ用シート」の施工方法

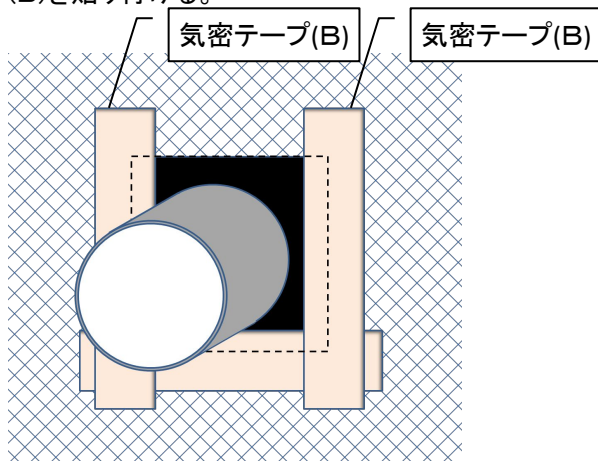
1. SKN2 Lunosをパイプに通し、壁面まで押し込む。



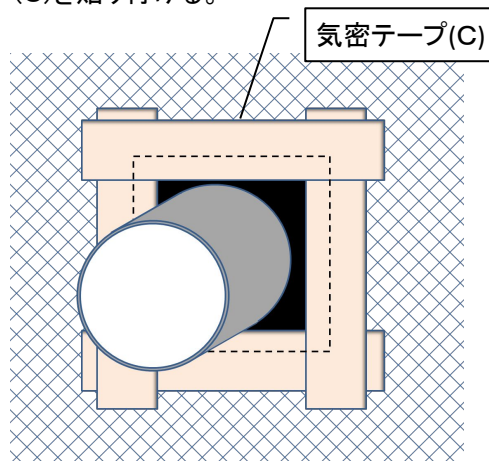
2. 付属の気密テープを適切な長さに切り、SKN2 Lunosと壁面に隙間ができないように、気密テープ(A)を貼り付ける。



3. ②と同様に気密テープ(A)の上に気密テープ(B)を貼り付ける。



4. ③と同様に気密テープ(B)の上に気密テープ(C)を貼り付ける。





施工手順⑦ VMPX施工手順 ガウスファンの接続(ワンタッチケーブル)

- I. ガウスコネクターケーブルを取付ベースの穴に通してください。
- II. ガウスコネクターケーブルとコントローラーファン接続ケーブルをコネクターに押し閉めてください。

※プラス・マイナスの配線を逆にすると故障の原因につながります。配線ミスによる故障は保証の対象外となりますので、お間違えないように配線してください。

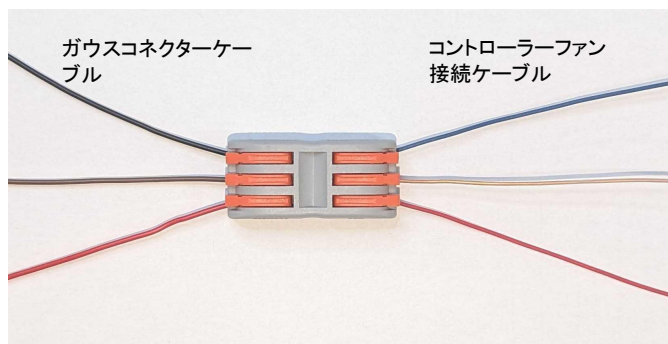
ガウスコネクターケーブル		コントローラーファン接続ケーブル	
● 黒	黒	● 青	青
● 茶	茶	○ クリア	クリア
● 赤	赤	● 赤	赤

黄色線は予備として接続しないでください。

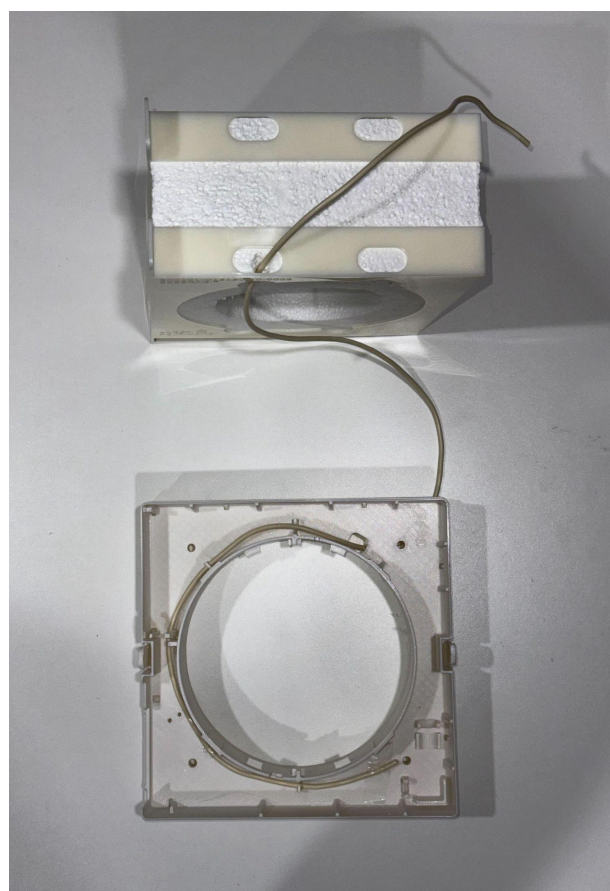
ガウスファンと取付ベース



接続【コネクターは付属品ではありません】



- III. ケーブルとコネクターを取付ベースの裏側に入れて、テープ等で固定してください。
- IV. ガウスファンコネクターケーブルのコネクターをガウスファン本体に差し入れてください。

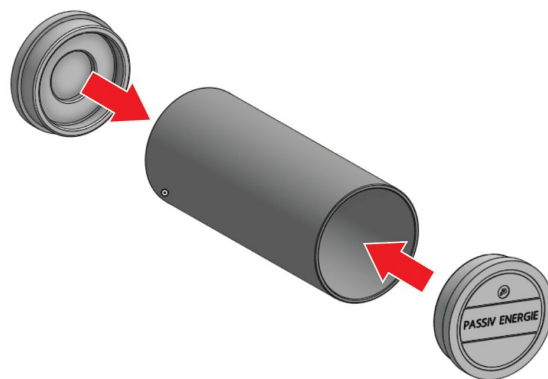


スリーブ管保護キャップ

工事期間中、汚れがスリーブ管に入らないように、スリーブ管保護キャップを取付けて下さい。

スリーブ管をカットする際、保護キャップを外し、カット後、保護キャップを元に戻して下さい。

※工事終了後(ファンユニット装着後)、
キャップを処分してください。(材質:EPS)





PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

「KK2」



施工手順⑧ 屋外フード KK2の設置方法

材質: ステンレス (JIS SUS304)

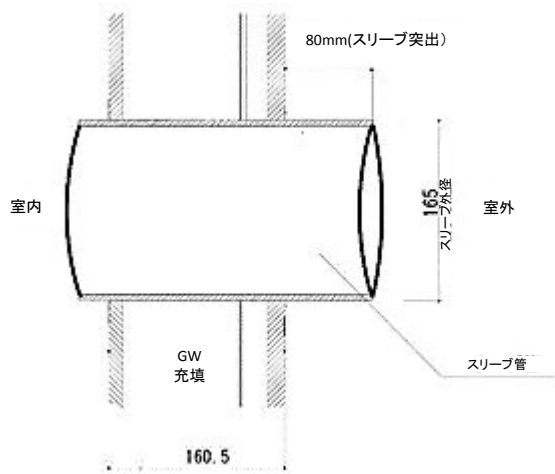
対応外壁厚: 115~380mm

(※壁厚280mm以上の場合は要相談)

防火ダンパー設置時最低壁厚: 175mm

カラー: ステンレスシルバー

マットブラック (オプション)



① 外壁面から屋外側に突き出したVU管を80mmで切断します。

② 壁面取付ベースリングをVU管の外側にかぶせてください。
スポンジが付いている側は壁側です。

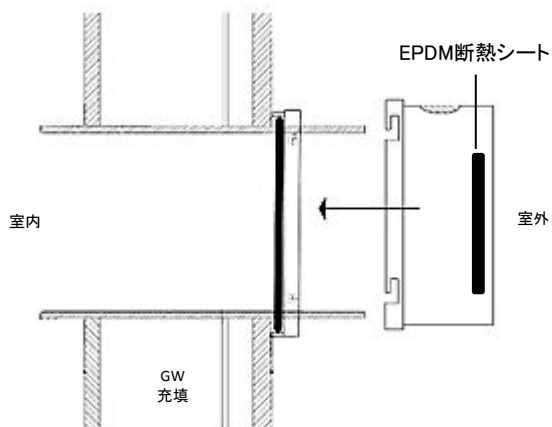
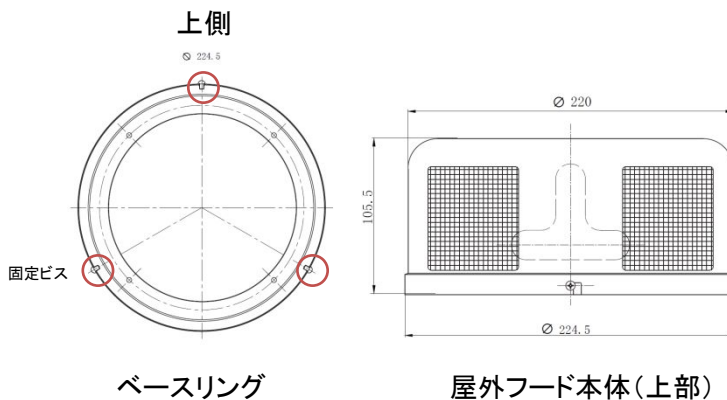
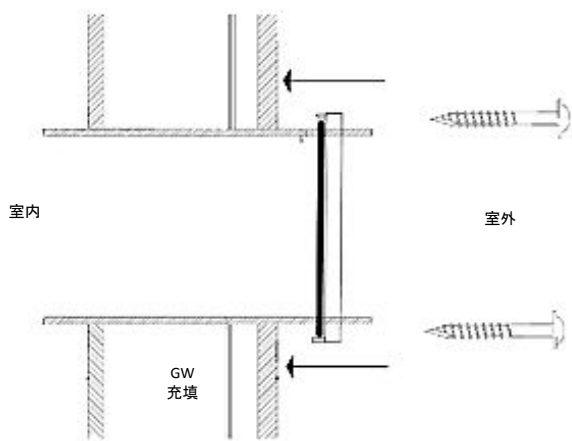
③ ベースリングを左右4ヶ所にビスで固定してください。

固定する前に、屋外フード本体を軽く付けて、上下面を確認してください。ネット2ヶ所が付いている方は上側です。

④ 屋外フード本体をベースリングにかぶせてください。
ビスをビス穴に合わせ、3ヶ所で固定してください。

※必ず外壁と屋外フード周りの隙間をコーキングしてください。このコーキングを怠ると、結露や凍害の原因になります。

※余裕がなければ、屋外フードKK2の中にあるEPDM断熱シートを外してください。





PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

「NWC」



材質: ステンレス (JIS SUS304)
対応外壁厚: 150~380mm
(※壁厚310mm以上の場合は要相談)
防火ダンパー設置時最低壁厚: 200mm
カラー: ステンレスシルバー
マットブラック (オプション)

施工手順⑨ 屋外フード NWCの設置方法

① 外壁面から屋外側に突き出したVU管を50mmで切断します。

② 壁面取付ベースをVU管の外側にかぶせてください。

③ ベースを左右4ヶ所にビスで固定してください。

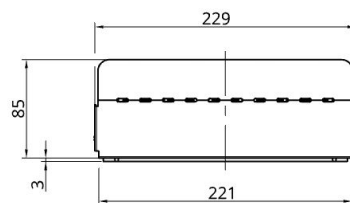
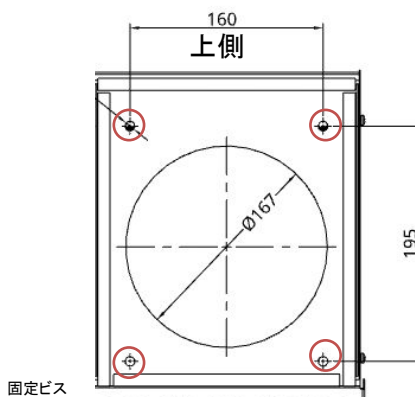
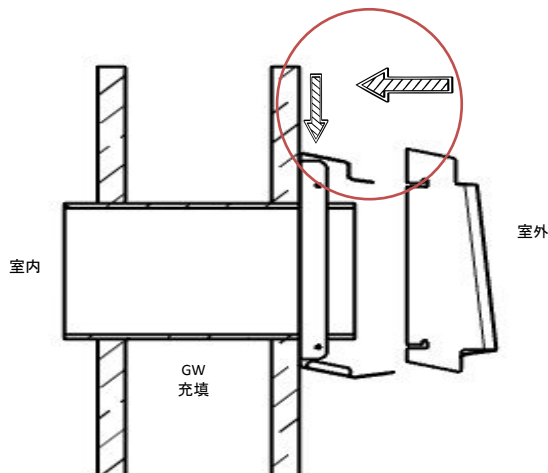
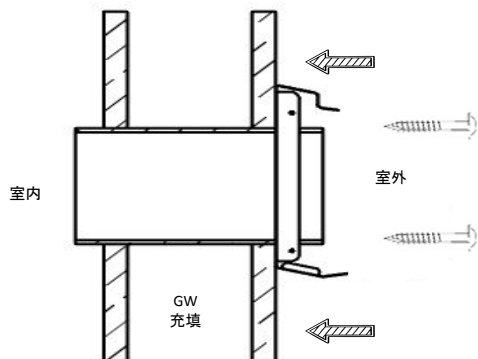
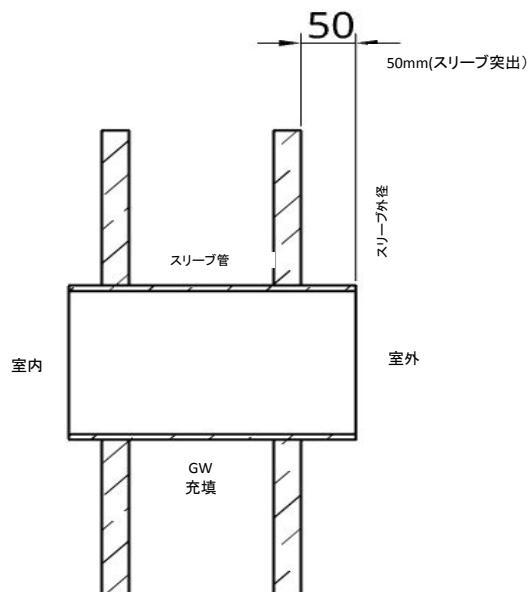
固定する前に、屋外フード本体を軽く付けて、上下面を確認してください。

④ 屋外フード本体をベースにかぶせてください。

※必ず外壁と屋外フード周りの隙間をコーキングしてください。

このコーキングを怠ると、結露や凍害の原因になります。

※カバーを室外ベース本体に隙間なく設置してから、押し下げてください。



屋外フード本体(上部)

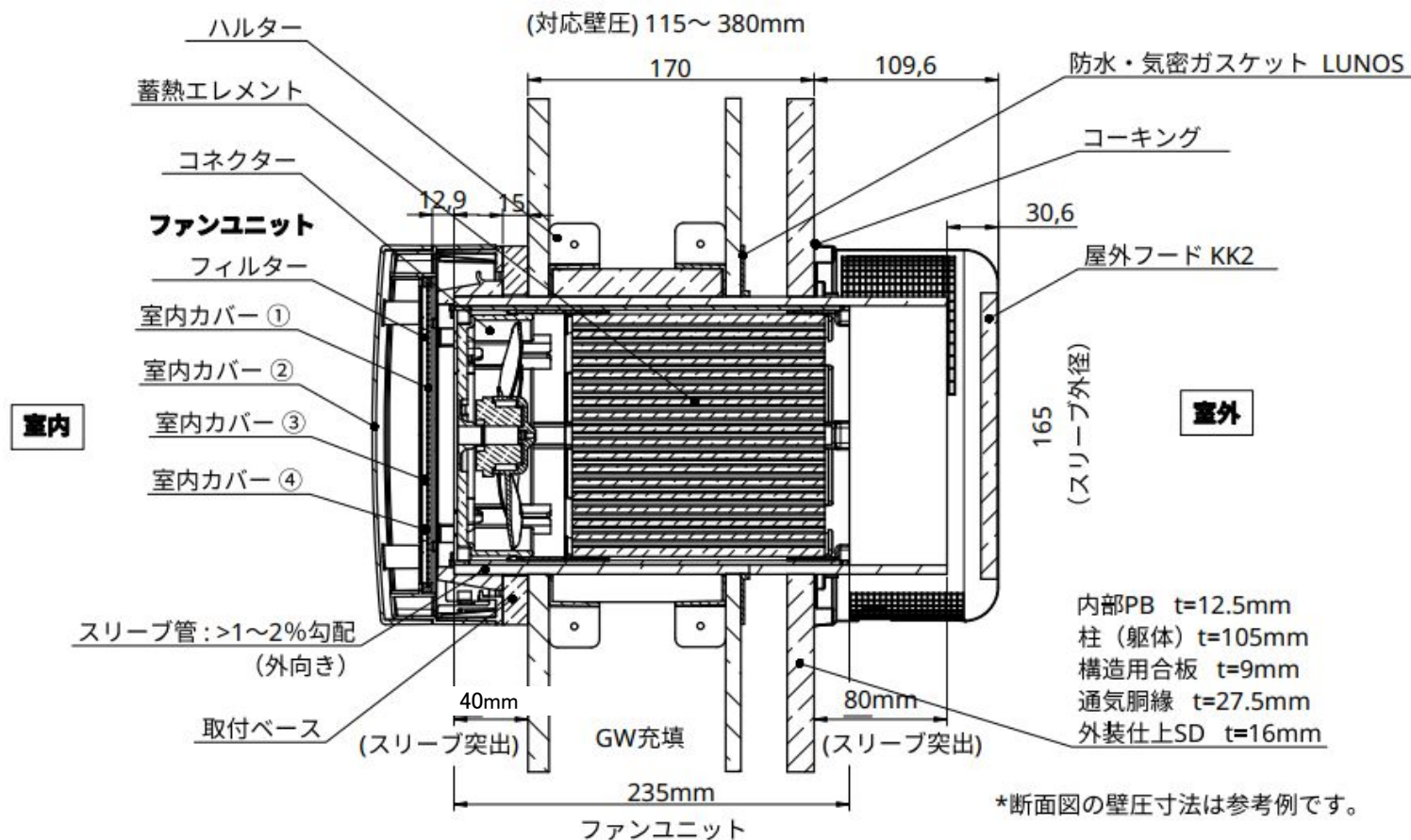


PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

参考断面詳細図①

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」

▼SKH150se-S400KK2(通常仕様)付加断熱無し 3.5寸



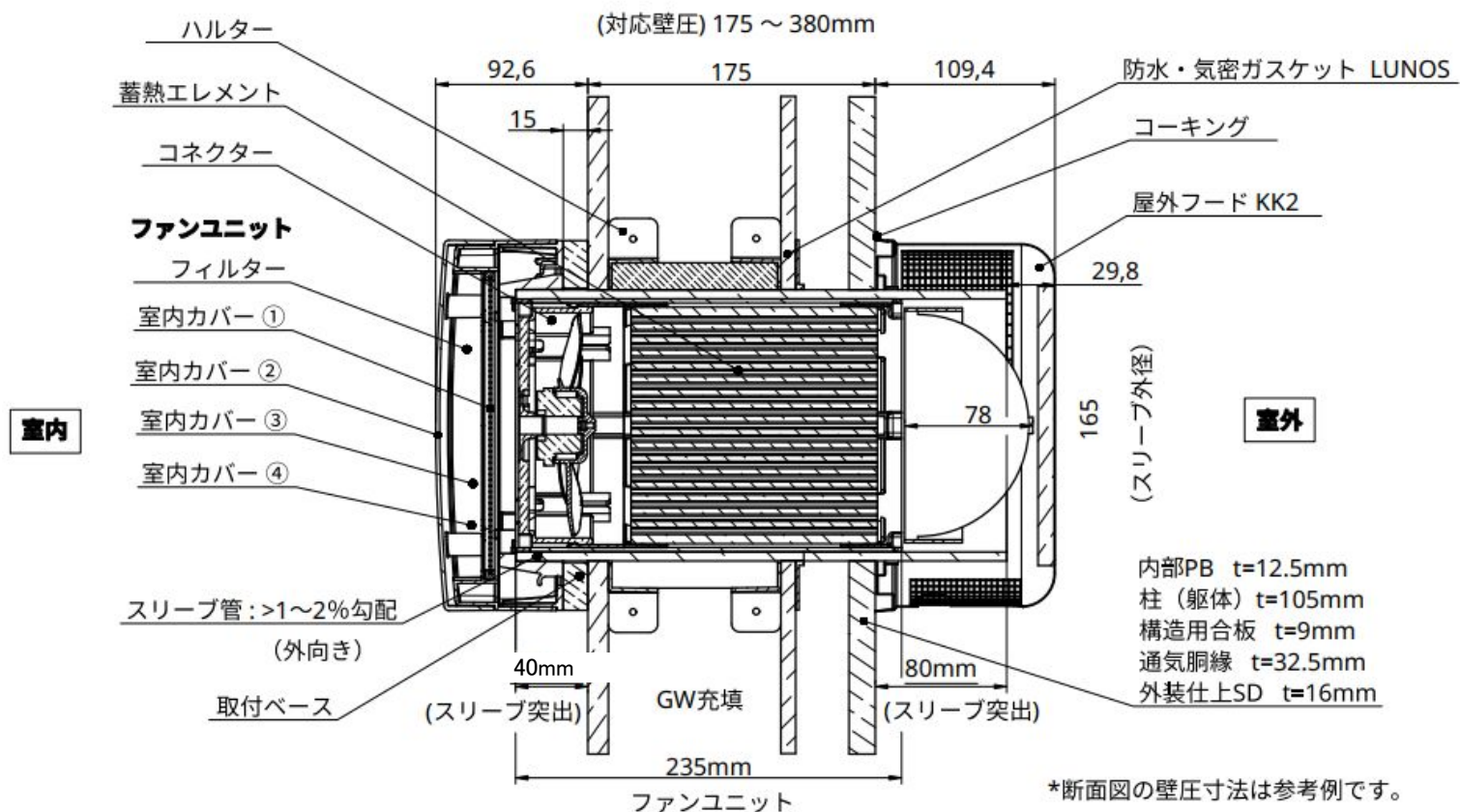


PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

参考断面詳細図②

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」

▼ SKH150se-S400KK2(FD仕様)付加断熱無し 3.5寸



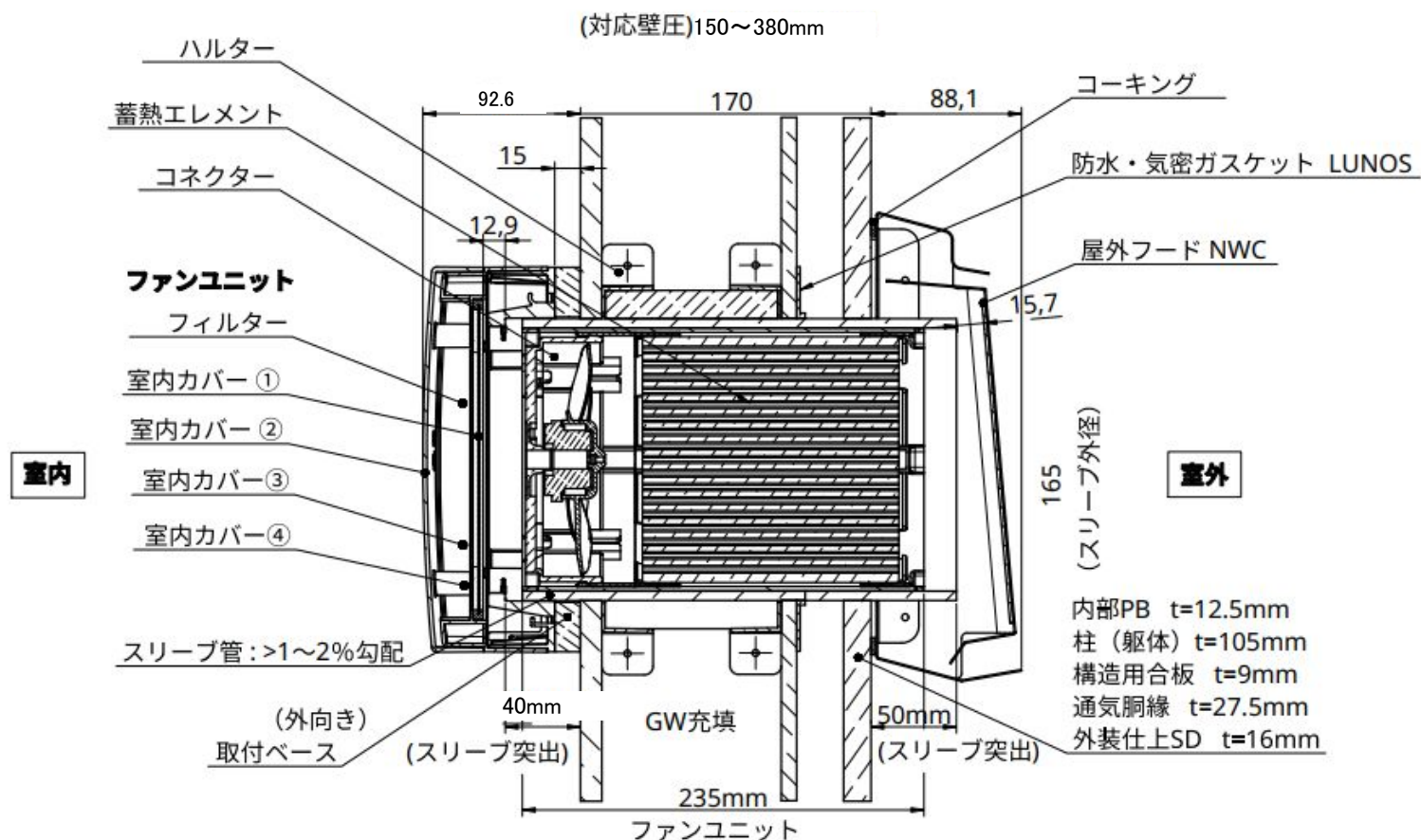


PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

参考断面詳細図③

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」

▼SKH150se-S400NWC(通常仕様)付加断熱無し 3.5寸



*断面図の壁圧寸法は参考例です。

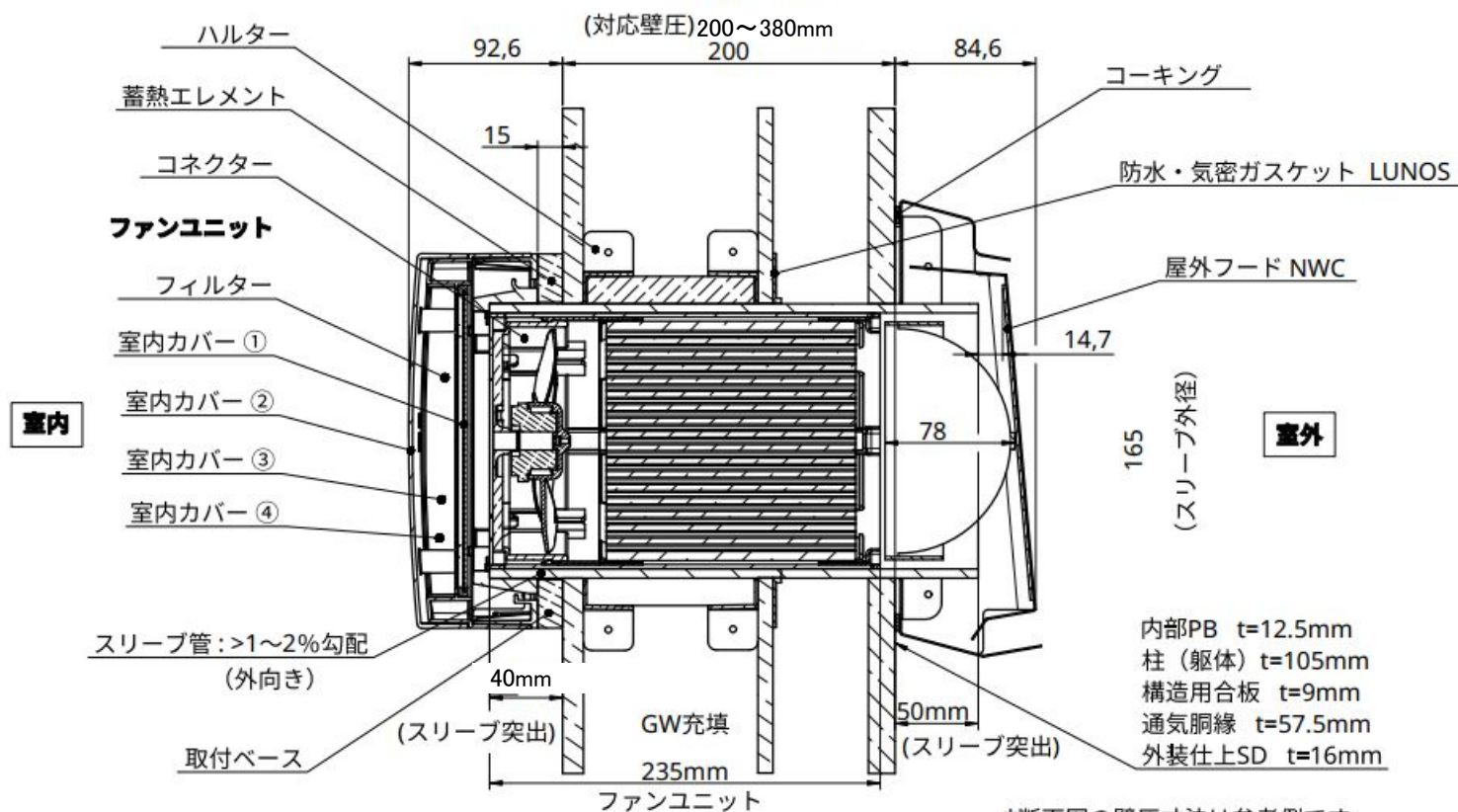


PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

参考断面詳細図④

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」

▼ SKH150se-S400NWC (FD仕様) 付加断熱無し 3.5寸



*断面図の壁圧寸法は参考例です。



初期使用方法の注意点と特性表

- 北海道地区で PE熱交換換気システム「せせらぎ ®S400」をご使用される場合のお願い
気密性の高い住宅ではレンジファン使用時に室内が負圧となり、「せせらぎ ®S400」の給気時に必要以上の冷たい外気が流入し、室内温度環境に影響が生じる恐れがあります。
北海道地区では「せせらぎ ®S400」寒冷地用(北海道使用)をご使用ください。
- PE熱交換換気システム「せせらぎ ®S400」の特性表

	「せせらぎ®S400」
型番 1)	SKH150se-S400
熱交換効率	最大 93%
風量 2)	最大80.0 m³/h
ファンユニット	PE ガウスファン
消費電力	最大 1.6 W/h
蓄熱エレメント	ハニカム カートリッジタイプ
	外径 154 mm
	長さ 150 mm ファンユニット込み 235mm
スリーブ管 寸法	外径 165 mm
	長さ 400 mm

※1) 型番の下部に書いてある文字はフードのタイプを表します。

※2) 表記されている風量は本体一台の風量です。

PE熱交換換気システム「せせらぎ®S400」は 60秒ごとに給気⇄排気が切り替わるので、
換気計算する際表記されている風量の半分 40m³/hで計算します。
表示風量は修正後の風量です。



トラブル・シューティング

1. コントローラーが動かない。(ランプが点灯・点滅しない)

- A) 「ON/OFF」ボタンを強めに3～5秒以上押してください。
- B) ブレーカーなどの主電源が通電されているか確認してください。
- C) コントローラーまでの主電源配線が断線していないか確認してください。

2. ファンが動かない。

- A) 配線方法を確認してください。(「せせらぎ®S400」はコントローラー集中配線です。)
- B) ファンのコネクタ部の結線・配線を確認してください。
- C) コントローラーのコネクタ部の結線・配線を確認してください。
- D) ファンまでの配線が断線していないか確認してください。
- E) コントローラーの配線状況を確認してください。

3. 1台のファンが高速回転する。(制御できない)

- A) コントローラーの配線を確認してください。
- B) ファンと分岐盤を結線しているクリア線を確認してください

4. コントローラーのLEDが点灯しない。

コントローラーがOFFです。電源ボタンを長押ししてください。

5. 1～4で問題が解決されなかった。

裏表紙に記載の連絡先までご連絡ください。

代理店様名・工事店様名・物件名・問題点をお話しいただけると対応がスムーズに進みます。



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

MEMO



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

MEMO



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

MEMO



PASSIV ENERGIE
住宅用熱交換換気システム

PE全熱交換型換気システム
「せせらぎ®S400」
SKH150se シリーズ
(本体)
施工要領書 発行:2024年11月

PASSIV ENERGIE株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 3-6-13

ファックス	03-6433-2831
メール	info@passiv-energie.jp
ホームページ	passiv-energie.jp

営業時間	平日 9:00 ~ 17:00
------	-----------------